

<R07-No15：地形測量：問題>

次の1～5の文は、公共測量における地形測量のうち、GNSS測量機を用いた現地測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の1～5の中から選べ。

1. ネットワーク型 RTK 法による地形、地物等の測定では、GPS、準天頂衛星システム及び GLONASS を用いることができる。
2. ネットワーク型 RTK 法による地形、地物等の測定は、ある一つの点から、基準方向と各細部点の交角及び距離を測定する手法で行うことができる。
3. ネットワーク型 RTK 法の単点観測法により測定した結果が周辺の既知点と整合していない場合、水平の整合処理はヘルマート変換などの適切な方法を採用する。
4. RTK 法による地形、地物等の測定において、初期化を行う観測点では、観測値の点検のため、1セット目の観測終了後に再初期化を行い、2セット目の観測を行う。
5. キネマティック法又は RTK 法による TS 点の設置の際、観測値を点検する場合の較差の許容範囲は、水平面の南北成分と東西成分が 20mm、水平面からの高さ成分が 30mm である。